



2023年6月6日

独立行政法人国立高等専門学校機構熊本高等専門学校
株式会社 NTT ドコモ 九州支社
NTT コミュニケーションズ株式会社

熊本高等専門学校、ドコモ、NTT Com が ユーザー指向プログラミング教育を通じた子どもの成長機会創出に関する協定を締結

独立行政法人国立高等専門学校機構熊本高等専門学校(以下 熊本高等専門学校)、株式会社 NTT ドコモ (以下 ドコモ)、NTT コミュニケーションズ株式会社(以下 NTT Com)は、ユーザー指向プログラミング教育を通じた子どもの成長機会創出に関する協定(以下 本協定)を 2023 年 6 月 6 日に締結します。

1. 背景

熊本高等専門学校は、GEAR 5.0 (未来技術の社会実装教育の高度化)※¹における介護・医工分野の中核拠点校として、「持続可能な地域医療・福祉を支える eAT-HUB 構想※²と AT 技術者育成による共生社会の実現」という事業テーマのもと、協力校 6 校 (函館・仙台・長野・富山・徳山・新居浜) と共にさまざまな研究、取り組みを進めています。

ドコモでは、家族とともに子どもの成長をはぐくむ新ブランド「comotto」を「子どもの未来を、もっと。」をコンセプトに立ち上げ、NTT Com とともに「子どもの成長を後押しする体験」を提供する取り組みを実施しています。

今回、熊本高等専門学校とドコモと NTT Com のノウハウを生かし相互に連携・協力することで子どもの成長や自由な発想を促し、地域社会の発展に貢献していきます。

2. 本協定の概要

本協定は、熊本高等専門学校、ドコモ、NTT Com が相互に連携・協力し、子どもたちが将来デジタル社会において生き生きと自由に力強く能力を発揮できるよう、子どもの成長や自由な発想を促す各種取り組みを実施するものです。この取り組みにより、子どもたちのプログラミング能力や課題解決能力などを開発すること、および活動を通じた地域社会の発展を目指していきます。また、障がいの有無にかかわらず、参加する子どもたちが夏休みの自由研究として取り組みを発表できるインクルーシブ※³なイベントを開催していきます。

本協定における主な取り組みは以下の通りです。

- ・簡単にプログラミングを体験できるデバイスの開発

あらゆる子供たちがプログラミング実装を簡単に体験できるように、新規デバイスを開発します。具体的には、熊本高等専門学校が開発した KME^{※4} を利用し、ボタンを押すだけで embot^{※5} を動かすことが可能となるインプットデバイスを開発します。

- ・課題解決型共創イベントの実施

上記のデバイスを利用し子どもたちが自分で設定した課題を解決する体験ができるよう、新たな開発を行うインクルーシブなイベントを企画し、実施します。

3. 各社の役割

熊本高等専門学校	： KME を用いた embot アプリ操作を可能とする開発 子どもの成長を目的としたインクルーシブな各種取り組みの企画 企画を実現する子ども向け課題解決型共創イベントの実施
ドコモ	： embot を利用した子ども向け課題解決型共創イベントの全体企画/実施 熊本高等専門学校への企画・講師支援
NTT Com	： 自治体等と連携した、プログラミング教育の普及推進・支援

4. 今後について

本協定にもとづき、3社は子どもたちのさらなる成長や発展を促す取り組みを実施します。

- ※1： GEAR 5.0（未来技術の社会実装教育の高度化） とは、独立行政法人国立高等専門学校機構が立ち上げた「Society5.0 型未来技術人財」育成事業を構成するプロジェクトの一つです。
- ※2： eAT-HUB 構想とは、共生社会に向けた「地域の困りごと」を HUB となる地域の高等専門学校が聞き取り、課題解決や支援技術を提案していく全国高専支援技術普及センターの立上げ構想のことです。
- ※3： 本文中の「インクルーシブ」とは、「年齢や性別、国籍、心身の障がいの有無に関係なく包括的な共生社会を目指した」と意味合いを表現しています。
- ※4： KME（KOSEN Multifunctional Endpoint）とは、「GEAR5.0 未来技術の社会実装教育の高度化」事業の中で開発された、要支援者の ICT 機器に対するアクセシビリティ（利用しやすさ）を向上させるスイッチを搭載したインターフェース（接続機器）のことです。
- ※5： embot（エムボット）とは、ドコモの新規事業創出プログラムから生まれた、ダンボールなどの身近な素材で組み立てて、プログラミングで動かすロボットののことです。